

「アラビア半島から日本の教育を問う」

日本女性 スワーダ・アル・ムダファーラ校長 巡回講演

助成団体
財団法人 国際文化会館

国会でも論議が交わされ、現在国民にとって最も関心の高い事柄の1つである教育再生。戦後60年を迎え、日本の教育が問い直されている今、アラビア半島のオマーンにおいて高い評価を受けるスワーダ氏による日本の教育、そして異文化における教育の課題を問いかける講演活動を支える国際文化会館を評価し、そのプログラムへの助成を行った。



2月6日に開催された佐賀県での講演

■平成19年(2007年)講演スケジュール

2月2日開催 (国際文化会館主催)	参加者数約140名
2月4日開催 (大阪国際交流センター共催)	参加者数約90名
2月5日開催 (「山口から考える中東・イスラム」高校生プロジェクト共催及び山口県庁、山口県教育委員会、周南市、周南市教育委員会後援)	参加者数約70名
2月6日開催 (NPO法人 夢の学校をつくる会共催)	参加者数約310名
2月7日開催 (NPO法人 GEWEL共催)	参加者数約60名
2月8日開催 (愛知県国際交流協会共催)	参加者数約80名

日本に生まれ、アラビア半島から日本の教育の今を問う

アラビア半島の東南端に位置する国オマーン。日本に生まれ、そして日本を離れてオマーン人として暮らし、現地の人々から高い評価を得ている教育者がいる。

スワーダ・アル・ムダファーラ氏。自らの信念と熱意を元手にオマーンの首都マスカット市に私立学校「アザン・ビン・ケイス・プライベート・スクール」を設立し、幼稚園児から高校生まで約500人もの生徒を預かる教育者であり、経営者でもある。その経験をもとに現在求められている教育のあるべき姿を国内外の視点から問い、日本の教育関係者のみならず子どもを持つ家庭や青少年の育成

に携わる地域の人々にとっても意義深い課題の提起を続けてきた。

近年の外国人移住者の増加等からも、国内でもイスラム圏等の異文化についての教育が求められていくことが予想される。その意味でも、現在注目を集めている女性である。



様々な反響を呼んだ、日本での講演

平成19年(2007年)2月2日から2月8日の6日間、国際文化会館の招聘でスワダ氏は、日本の全国5都市6か所で講演活動を行った。

日本と全く異なる文化・社会制度を持つオマーンで、スワダ氏の学校が高い評価を得ている理由とは何なのか、そしてその教育内容とは。スワダ氏の教育者としてのビジョン、問題意識を基に、岐路に立つ日本の教育現場に投げかけた外からの意見は、会場に集まる教育関係者の大きな共感を生んだ。また、異文化とどう接していくのか、学校経営者として、女性としてイスラム社会で事業を進めるうえでスワダ氏が直面した困難と、それを克服するための信念や方法についても時間はさかれた。

スワダ氏の講演を企画した国際文化会館のプログラム・アシスタント池田純子氏は語る。

「9.11以降、イスラム教への理解を促すセミナー等も日本で増え

ましたが、実際にイスラム教徒、そして女性として中東地域に長年生活され、教育者としてもオマーンに貢献されてきたスワダさんの声は、説得力があり、参加者のイスラム世界への理解に新しい視点を投げかけてくださいました。新しい形の教育を模索されている方、学校を立ち上げようとしている方々を元気づける、そんな巡回講演が実現できました」

国際文化会館では、スワダ氏の講演のように今後も人物交流・知的協力を中心に、アジア・リーダーシップ・フェロー・プログラムなど海外からの有識者招聘、そして講演会を広く一般に公開し、関係者や市民との対話を促進していくという。

これらのプログラムは、日本の様々なレベルでの国際化に大きく寄与し、また新たな気づきを私たちにもたらしてくれるだろう。



会場には学生たちも多く訪れた



老若男女を問わず大きな反響を呼んだ大阪講演



2月2日、東京での講演を皮切りに、全国での講演会ツアーが始まった

スワダさんの言葉にたくさんの元気をいただきました



秦 智美さん
学生

私は、教育心理学専攻の学生で、講演会の主催団体「夢の学校をつくる会」が実施している小学生対象の学童保育「月～金タマテ箱」にボランティアとして参加しています。この活動は、子どもたちが感性と知性のバランスを保つよう、プログラムに様々な工夫が

あり、これから社会に出て教育関係の職業に携わる私にとって、大変貴重な体験となっています。

今回の講演会は、いじめやゆとり教育等、数多くの教育問題が指摘されているなか、海外から日本の教育はどのように見えているのだろうかと大変興味がありました。実際に参加してみて、海外とか日本とかではなく、子どもは万国共通であることに気がきました。また、教育の質や仕組みも大事ですが、何よりも高い志と情熱をもって取り組むことが大事であると思いました。そして、スワダ氏の素晴らしい人間性、幅の広さ、大きさ、心の

温かさ等に引き込まれ、たくさんの元気をいただき、心のなかにふつつつと湧いてくるやる気を感じました。

場内には年配の方から若い方まで様々な年齢層の方が参加していましたが、最後は、これまで聞いたことのないような大音量で、本当に素直な心からの拍手で終わりました。このような元気の出る講演会は、ぜひまた参加したいと思います。そして、スワダ氏のように、素晴らしい人柄と情熱にあふれる講師との出会いができることを楽しみにしております。